

愚者に無知 賢者に畏怖



9月、長野県御嶽山の突然の噴火。

8月には広島で大規模な土砂災害。

この夏の異常な長雨、しかも晴天が一転しての暴風雨。

最近の自然災害、異常気象。

「何かおかしい・・・」って感じませんか？

「えっ、何が？」 「別に、何も感じないけど」

そう思った方、今月号のかわら版は、これで終了です(笑)

被害に遭われた方に哀悼の意を捧げながらも、犠牲者の方々から生き残った私たちが学ぶことは何か？

「あ～自分は山登りが趣味じゃなくて、よかった～」

「山登りは遭難もあるし、危険だから絶対しないぞ」

「うちは山沿いじゃなくて、都会のマンションだから土砂災害に遭う危険ないから関係ないわ」

それは「学び」ではなく、ただの「感想」ですね・・・
お気の毒だとは思いますが、その場にいなかった自分には関係ない。
どこかにそうした「他人事」で終わっている。
3・11の東日本大震災しかり、自分には関係ないと。

はっきり申し上げます！
それで終わる人は、愚者です！！
学習能力のない、想像力のない、ムチムチ無知の、大バカモノです！！

「明日は我が身」

災難というのは、いつ、誰に起こるか分からない。
今日の災いは他人事だと思っていたことが、明日は自分に起こるかもしれない。
これって、マイナス思考でしょうか？

違いますよっ！

「明日は我が身」
そう思える人こそが、賢者です！！

「明日は自分が災難に遭うかも」
賢者がマイナス思考の人と違うところは、そう考えた後、それで終わらずにその不安を払しょくするために、リスクを減らす行動に移すところです。

「備えあれば憂いなし」
備えができる人、予防ができる人こそが、賢者です！！

例えばあなたが
御嶽山の噴火から無事に生還できたとして、その時の感想が

「気象庁のホームページを確認したら御嶽山はレベル1だった。しっかり確認して安心して出掛けたのに、こんな目に遭って・・・腹立たしい！」

「いやあ～助かった、ホント、命拾いしたよ～～
もう山登りなんて二度としないぞ！ あ～～行くんじゃないかった」

もしそれで終わるなら、もう、ぐしゃぐしゃの愚者ですよ！！(笑)

愚者は常に被害者意識。自分に目が向かない。他人のせいにする。

一方、
賢者は苦い体験を通じて、自分を反省し、深く思慮します。
「事前の準備、心構えが甘かった。次からは万が一に備えて行動しよう」

**賢者は失敗に後悔するのではなく、誰かのせいにするのでもなく
失敗した自分から学ぼうとします。**

そして

「自然に対する愛はあっても、畏怖が足りなかった・・・」

「そういえば最近の異常気象や相次ぐ自然災害、特に3.11から何か日本が、
地球がおかしいようだ」

「明日はどうなるかわからない命、人間は自然の中で生かされているんだ」

そこに気づく

荒れ狂う大自然の猛威の前では、いかに科学が進歩しようとも
「人間は無力だ・・・」と痛感させられる。

自然に対して畏怖が持てるとは、そういうことだと思います。

ある災難が家族に起こったとします。

例えばマイホームが土砂に流され借金だけ残った。

その時、妻が「あなたがここに住もうと言わなければ・・・」

それを聞いた夫が「おまえだって気に入って賛成したじゃないか！」

例えば子どもが不登校になった。

その時、夫が「おまえのしつけが悪いからこうなったんだ！」

それを聞いた妻が「あなたが仕事仕事で、子どもに無関心だからよ！」

不幸な家族を掘り下げていくと・・・

家族全員に「責任転嫁グセ」があり、最後まで自分を正当化しています。

起こった結果を建設的に、前向きに善処して行こうという考えがなく、

それぞれの頭にあるのは、いつも「自分は悪くない」という自己保身。

「自分は悪くない」といった者同士と一緒に生活すれば、どうなるか？

言わずもがな、ですね(笑)

病気になっても、災難に遭っても、「自分は悪くない」という発想。

いくら学歴があっても、社会的地位が高くても、典型的な患者です。

そういう人は、自然への畏怖や感謝は持てないでしょう。

常に自分を正当化する人は、すべてにおいて感謝ができない人だから。

実際に災害に遭わなくても、犠牲者のニュースを見聞して「明日は我が身」と

自分の生活環境に目を向ける。そして

大自然に畏怖を感じ、毎日の平穩無事に感謝する。

今の自分が幸せで健康でも、他人の大病や訃報を見聞して「明日は我が身」と

自分の老・病・死に目を向ける。そして

現状に感謝して、健康長寿の努力を惜しまない。

「生かされている」ことに気づき、周りに、今に感謝ができる。

ごめんなさ~い、太田東西薬局の 賢者 のみなさんは、すでに実践されていることでしたね！(笑)